

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

ふなお

日付 平成 20年 11月 10日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

このホームの母体である法人は、船穂という地域にデイサービス事業を展開しており、訪問介護や居宅介護支援事業と共にグループホームを設立している。設立当初、社長はこの地に何の由縁もなく、大きな介護施設で介護の仕事をしてきたが、色々と研修等で勉強した結果、利用者と一緒に生活し、人間らしい生き方をさせる事は、大型施設では実現出来ないという判断から、居宅介護を支援しながら、家族が家庭で介護出来なくなった受け皿としてグループホームが必要であるという考えを持った。

こんな考えを持っていたところ、あるきっかけでこの地域の有力な人と付き合えることになり、社長の考えに賛同を得る反面、地元の人とはその信念を曲げる事なく、ハートで付き合い、決して裏切る事のないよう助言を貰って支援を受け、銀行への紹介も得て、本格的に現在の事業の建設が始まった。社長の信念と地元との関係を大切にしている行動は、当初から一貫して続けており、地元で認められたいという一念は、ホームの周辺の道路沿いの空地の維持を引き受け、利用者と共に除草と溝掃除等、積極的に地元の奉仕にも参加して協力しており、地元の人々にも信頼を得ている。

平成16年6月、グループホームが開設して以来、5年目の運営を続けている。5年という歳月はグループホームにとって一つの大切な節目となり、職員の変動、利用者の症状の重度化、家族との関係等、ホームの初心が崩れるホームも多いが、このホームの場合はその心配は全くない。これは社長の意志と方針が当初から一貫しており、全くブレル事がない。社長自ら事業の現場に常に接触し、自らもケアとサービスに関わっている事、職員が社長の考えに賛同し、利用者への目配り、気配り、思いやりという、利用者との付き合いに心の通い合いを持って常に関わっている、利用者や家族の声に常に耳を傾け実行に繋いでいる、そして笑顔と笑い声を絶やさぬ姿を見ると安心感が漂っている。

設立して1年経過した時、社長と職員で運営理念を話し合い、現在掲示してある理念がある。この中に『人間と人間の関係づくり』を掲げている。この言葉は社会の中で最も大切である反面、現在の世の中では忘れ勝ちな事である。社長と職員、職員と利用者、利用者や家族、職員と地域の人々、職員同士、利用者同士等の関係が、この言葉の一言で語られ、その意義を実践している事が、このホームにとって大変重要な事であるし、将来共に継続していけるだろうこのホームの存在に、認知症の人やその家族に安心した生活を提供出来る。そしてこの地域の中で認知症に関する理解の啓発に寄与する事業所として期待することが出来た。

特に改善の余地があると思われる点

利用者は高齢化と認知症という病気のリスクを持って生活している。このリスクはどんどん変化していくので、それを医学的及び人間的に把握する方法を考え、そのリスクを出来るだけ軽減あるいは改善していく為の日頃のリハビリを具体的に介護計画に反映して、その経過を記録の中に残して、利用者の生活に密着した計画と記録のシステムを構築して貰いたい。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：運営理念や実施計画において、このホームで設定及び実施している事は、ホームのモデルとして存在出来るものである。運営理念に掲げてある内容は、認知症ケアを具体的に示したものであり、実施するプロセスも理解出来る。</p> <p>2、全体的に見て…：運営理念とか方針と言うと、事業運営の実態と乖離している所が多いが、このホームの理念は、ホームで見る職員の動きや利用者の表情、あるいは介護計画や記録の中に記録されている事項からも、ホームの運営に定着している事がよく判る。そしてホームの運営は、職員が行うべき日常業務の実行によって支えられている。この業務の確実な実行のために反問式チェックリストを12項作り、トイレや事務所に掲示してあった。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：リビングルーム及び居室は木の温もりを感じられる造りになっていて、造作や装飾も含めて利用者に家庭の味と生活の安心感を与えているであろう。利用者職員との生活行動がこのホームのソフトな動線をつくり、住み慣れ、訪問し易いホームを形成している。ホームの裏地の外部空間、及び地域の人が提供してくれている農地は、そこからの農作物が利用者に感動を与えてくれている。何ら変更する点はない。</p> <p>2、全体的に見て…：ホームの生活の中に動物あるいは植物との共存がある。今回は、新たに兎を飼い出した。裏庭で飼っている段階であるが、この兎をどう飼うかも、利用者によく話し合ってから、納得して飼う方法を作っていた。金魚や熱帯魚の飼育は一人の男性の役目として、生活の中に定着している。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることに配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：ケアに関しても特に改善しなければならない事はないが、職員の間ではアセスメントの為に利用者の情報収集及びその情報のケアへの生かし方、介護計画の作り方、重点的なケア項目の設定の仕方、そして計画の見直しへの反映、一人ひとりの記録の仕方等を改良していこうという意欲がある。これらは、利用者が生活していく上での目標を設定するものであり、毎日の生活の足跡を示すもので大変重要な事なので、是非良い道筋を見付けて貰いたい。</p> <p>2、全体的に見て…：利用者に対する目配り、気配り、思いやりという抽象的な行動になり勝ちなケアの基本が、利用者の様子や行動を見て、職員は着実に実施している。又利用者の気持ちや希望をよく聞いて、それを直ぐ実行してあげる。普通困難と思える事も実行している。その結果、利用者の持っている身体的衰退や心理的な不安を解消して、人間味を蘇らせ、見事人間回復させている事例も多い。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：社長と職員との関係、利用者の気持ちと家族の意見の重要視、地域との関連と一体感については申し分ない。又ホームの運営の仕方と職員の業務遂行に対するマネージメントの考え方も配慮の痕跡を汲み取ることが出来た。ホームの看板は、家族の希望もあり、敢えて大きな表示はしていないそうだが、判り易い立場所でもあり、ホームもよく目に付くので問題はないと判断した。</p> <p>2、全体的に見て…：設立以前から、社長は地域の人との付き合いをして、色々な場面で地域に貢献に貢献したり、協力して信頼を得ている。地域運営推進会議も開催の必要がない間柄であるが、確実に2ヶ月に1回開催して、ざっくりばらんな付き合いを進めて、有意義な意見交換もしている。地域の人、利用者を四季折々の収穫に誘ってくれたり、職員の親睦会に自宅を貸してくれたりしている。社長は「地域の声をよく聞いて、心で付き合うよう努めたい」と言う。その通りの行動である。</p>		